

日光角化症の日光弾性線維量は有棘細胞癌への移行因子であるかに関する研究

2016年1月1日より2023年12月31日までに当院形成外科・皮膚科で皮膚病理組織検査を受けられて、日光角化症あるいは有棘細胞癌の診断を受けられた患者さん

研究協力をお願い

当院では有棘細胞癌という皮膚がんの原因や発癌リスクの解明に繋がるようにと、「日光角化症の日光弾性線維の面積や深さによって浸潤性有棘細胞癌への移行に相関するかに関する研究」という研究を行います。この研究は、2016年1月1日より2023年12月31日までに日本医科大学武蔵小杉病院形成外科・皮膚科にて皮膚腫瘍を切除され、日光角化症(有棘細胞癌の前癌病変)あるいは浸潤性有棘細胞癌の診断を受けられた患者さんの、診断に用いた病理検体の特徴をまとめることで浸潤性有棘細胞癌になりやすい方の特徴を同定しようとする試みになります。研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の間い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：日光角化症の日光弾性線維量は有棘細胞癌への移行因子であるか
に関する研究

研究期間：倫理審査承認後、病院長の実施許可日 ～ 2024年8月31日

研究責任者：日本医科大学武蔵小杉病院 皮膚科 杉本 徹

(2) 研究の意義、目的について

日光角化症が浸潤性有棘細胞癌に移行するのに、いずれの疾患にも確認される真皮の「日光弾性線維」がどのように関わっているのかの臨床病理学的検討を行う。浸潤性有棘細胞癌に移行した日光角化症の臨床病理組織から、浸潤性有棘細胞癌発生の時期や病態の解明、日光弾性線維の関連性を検討することで、今後の病理診断や治療の一助としていきたい。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2016年1月1日より2023年12月31日までに日本医科大学武蔵小杉病院皮膚科で皮膚病理組織検査を受けた患者さんおよび皮膚病理診断室にて、皮膚病理組織検査報告書を作成された患者さんの病理組織標本を解析し、その特徴についての検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：皮膚生検、手術時に切除した皮膚病理組織、等

情報：年齢、性別、病理診断、病理組織所見、等

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、研究にあたっては、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」および「個人情報保護法」を遵守し、個人情報の保護に努めます。学会・論文報告に際しては、研究結果は個人が特定されない形で公表されます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学武蔵小杉病院 皮膚科 杉本 徹
〒211-8533 神奈川県川崎市中原区小杉町1-396
電話番号：044-733-5181（代表） 内線：3584
メールアドレス：s-toru@nms.ac.jp